

2018

# はこだて科学寺子屋 集中講座

単位互換制度対象科目

「科学技術コミュニケーション入門」2単位

対象：一般市民および学生

受講料無料  
要申し込み

## ◎内容紹介

今年の寺子屋のテーマは、「自分を理解することを通して、科学を日常に紐付けること」です。

今年で10周年を迎えるはこだて国際科学祭をはじめ、函館地域には、たくさんの科学に触れ合う機会があります。科学と市民のよりよい関係性を探求する科学技術コミュニケーションという考え方を元に、講座を通して、科学に関心がある人も、そうで無い人（むしろ大切な存在!）も、科学を「自分ゴト」化し、自分自身への理解を深め、一人一人の未来を描いてゆきます。

# 「科学」をきっかけに、 「わたし」を知ろう

## ◎日時と会場

9/8(土) 11:00-18:30 函館市青年センター(函館市千代台町27-5)

9/9(日) 10:00-17:30 函館市青函連絡船記念館摩周丸(函館市若松町12番地先)

9/10(月) 10:00-17:30 函館市青年センター(函館市千代台町27-5)

## ◎講師 須子善彦



ビジネス・ブレイクスルー大学准教授/  
公立はこだて未来大学非常勤講師  
1979年生まれ。函館出身。通信制(ネット)大学で経営やITを教えると共に、市民一人ひとりの「自分たち事」からまちづくり等のアクションを創出する手法「マイプロジェクト」の普及のために日本各地を飛び回る。

# 「科学」をきっかけに、 「わたし」を知ろう

## MYPROJECT

科学を「自分ゴト」化するという事は、各自の価値観や原体験に基づいて、科学に対して当事者意識を持つ関わり方を見つけ、自分の生活や人生に紐付けてゆくことです。みなさん自身の生活や人生の充実化と、社会をより良くしてゆくことを同時に実現する楽しさを実感できる、それが「マイプロ」を用いた「自分ゴト」化の学びです。

この学び方は科学に限らず、他の様々な分野でも応用できるでしょう。いいかえるなら、科学はキッカケに過ぎません。科学に限らず、対話、コミュニケーション、まちづくり、教育、ソーシャルイノベーション等に興味がある人にとって、実りのある3日間となると思います。客観的世界と主観的世界と紐付ける楽しさを、共に味わいましょう。

### ●プログラム

9/8(土)

Day-1

マイプロ体験会：  
マイプロジェクトを創ろう。

ゲスト：函館市女性会議 佐々木 香さん

日常の学びや気づきを「自分ゴト」化し、より自分らしく生きることや、社会を良くすることに繋げる手法「マイプロジェクト(以下、マイプロ)※」を体験します。また、ゲストの方のマイプロを聴き、受講生のみなさんのマイプロに繋げてゆきます。

マイプロを通して、みなさん一人一人が「わたし」を主語として、「科学」や「街(はこだて)」「未来」との、自然な関係を描くことから始めてゆきます。受講生同士で楽しみながら、自分自身を知り、自分の未来を描いてみましょう。

9/9(日)

Day-2

フィールドワークとリフレクション：  
「科学」と「わたし」を繋げよう

フィールドワーク先や、これまでの参加したイベント・活動などからの学び気づきのシェアを通し、一日目で考えたマイプロジェクトとの繋がりを考えます。

フィールドワーク先：理化学研究所 科学講演会 in 函館  
13:00-16:30

9/10(月)

Day-3

自分ゴトから  
私たちゴトに昇華しよう

それぞれのマイプロジェクトを支え合うワークを通して、それぞれのマイプロジェクトを自分ゴトから私たちゴトに昇華し、社会へインパクトを考えます。

#### ※マイプロジェクト(マイプロ)とは？

その名の通り一人一人が自分のプロジェクトを描き、その第一歩を踏み出すことを仲間同士で共に応援し合います。その過程を通して、自分自身の価値観・特性・好きなことを再確認し、自分の想いや本当にやりたいことの見つけ方のヒントを得てゆきます。つまりは、お互いを応援し合える最高の仲間づくりと共に、自己理解とアクションの明確化が進み、その結果として、よりよい社会の実現に繋がるのがマイプロです。今注目を集める手法として、組織開発や起業家支援、地域創生、教育現場など様々な目的で使われています。

キャンパス・コンソーシアム函館  
単位互換対象科目  
主管校：公立はこだて未来大学

はこだて科学寺子屋集中講座は、社会人・一般市民向けの公開講座であると同時に、キャンパス・コンソーシアム函館 単位互換制度対象科目「科学技術コミュニケーション入門」(2単位)として開講されます。単位認定には3日間の受講の他、必要な条件を満たしていただく必要があります。

単位を希望する学生の方の問い合わせ・申し込みは、所属校の事務局まで。

#### ●一般の方の問い合わせ・申込み

土曜のみ、土日のみの部分参加も可能です。  
サイエンス・サポート函館事務局(担当：仲川)  
〒041-8655 函館市亀田中野町 116-2  
公立はこだて未来大学社会連携センター  
メール info@scinecefestival.jp  
電話 0138-34-6527  
URL <https://www.sciencefestival.jp/>